

第31回 日本看護歴史学会学術集会
看護の政策過程の検証
—歴史から看護のエビデンスを探る—

日時:2017(平成29)年8月18日(金)、19日(土)

場所:東京慈恵会医科大学医学部看護学科

〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1 TEL:03-3480-1151 (代)
(京王線国領駅 徒歩10分、もしくは小田急線狛江駅よりバス15分)

会長:田中幸子(東京慈恵会医科大学医学部看護学科)



会長講演:「看護の政策過程 — 占領期の看護改革を振り返って — 」

1.シンポジウム「准看護婦(師)制度の政策過程を考える」

- ・ 似田貝香門先生(東京大学名誉教授): 准看護婦問題調査検討会を振り返って
- ・ 野村陽子先生(岩手医科大学教授): 保助看法制定以降の准看護師制度の検討
- ・ 林 千冬先生(神戸市看護大学 教授): 准看護婦(師)制度問題を考える(仮)

2.特別講演: 渡邊英徳先生(首都大学東京システムデザイン学部 准教授)

テーマ: データを紡いで社会につなぐ、記憶を伝えるデジタルアーカイブス

3.教育講演: 梅崎 修先生(法政大学キャリアデザイン学部 教授)

テーマ: オーラルヒストリー・メソッドが拓く歴史研究の可能性

